

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会 議 名	平成 28 年度 第 3 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 28 年 12 月 22 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 35 分
開催場所	益田市匹見タウンホール 集会ホール
出席者	・ 匹見地域協議会委員 (8 名) ・ 匹見総合支所：山口支所長 住民福祉課：藤井課長、桐木補佐、小田 地域づくり推進課：靱田課長 建設課：露口課長

【会長あいさつ】

久々に市長が出席され、お礼申し上げます。色んな課題を抱えながらの地域協議会であるが、本日もよろしくお願ひしたい。

【市長あいさつ】

久しぶりの出席となった事をお詫び申し上げます。8 月から 2 期目の任期に入っており、9 月議会では所信表明を申し上げたところである。忌憚のないご意見等を伺わせて頂きたい。

【意見交換】

(1) 市長との意見交換会

- ・ 1 期目は対話と協調という事をスローガンとして進めてきた。2 期目はこれに加えて集中的かつ大胆な実行により成果を上げていきたい。
- ・ 2 期目の重点目標として①産業振興とその基礎となるインフラ整備②安心して暮らせるまちづくり③ひとづくりと文化振興④行財政改革 の 4 つを掲げている。

《質疑・意見》

匹見峡温泉について

- 施設の老朽化が進みランニングコストがかかってくる中で、温泉の経営が大変厳しいという話を聞いた。温泉は匹見地域の産業振興の核となる施設であるため、市の財源も非常に厳しい中ではあるが、予算立てをしっかりと頂き策を考えて頂きたい。
 - ▷ 施設の老朽化については基本的な取り決めに基づき対応する。緊急な対応が必要な場合は補正予算を措置して対応しているところである。今後も匹見峡温泉の経営が更に安定するよう市として色々な策に取り組んでいく。
- 薪ボイラーを導入する事で燃料代の削減が見込めるという事だったと思うが。薪を焚いたり運搬の為の person 費や、フォークリフトを購入する等、当初の試算以上に経費がかかりコスト削減の効果が現状では出ていない。現在は薪ボイラーを稼働させていないと聞いたが。
 - ▷ 今年度から稼働したもので、当初の計画にない問題が発生している状況がある。1 年を通じた運用

の中で整理をし、今後の安定的な運営につなげていく。

- 薪の運搬等新たな仕事が増え、従業員数も限られた中では色んな不満が出てくると思う。人件費や機材の導入等、市の予算で対応できる部分是对应していかないと、このままだと温泉の負担が大きくなっていくばかりではないだろうか。

▷ 薪の運搬については温泉と協議をし、その対応について決定した。

当初の想定では年間通して薪ボイラーを併用していく予定であったが、薪が湿った状態で焚くと逆にコストがかかる為、現在は灯油のみで対応している。これも温泉と協議しながら進めている。

- 薪ボイラーが現在稼働していないという事を初めて聞いた。薪ボイラーは非常に期待をもって導入したものであり、成果が上がるように協議しながら取り組んでほしい。薪が湿っていて焚くことができないのでは話にならない。その対策は出来ているのか？

▷ 薪を割って乾燥させなければならないが、そのストックが十分に保てなくなった為、現在薪ボイラーの運用がとまっている。冬場の為乾燥がスムーズにいかないが、なるべく早く進むような対応をとっているところである。一定のストックが出来次第、再スタートが切れる見通しではあるが、はっきりとした目途は立っていない。

地域の担い手育成について

- 実際にどのような人を指すのか？

▷ 地域の担い手としては、地域の課題を解決できる人材という事に特に焦点を絞っている。地域の課題を解決する為には、裏方的な役割で地域をうまく調整しながら一つの方向に導くようなファシリテーター的な役割で解決する人材が一番重要ではないかと考えている。

- 育成するためにはどのような事をするのか？

▷ 現在地域自治組織の在り方について見直しをかけている。公民館を市の公の施設として残し、社会教育の枠組みの中で地域の担い手を育成していく事になっている。

- この地域の人ができるのか、他の地域から来てやっていくのか？

▷ 残した公民館から将来地域の担い手が育成されるよう、公民館がそういう役割をはたしていけるような、そういう思いを持って公民館を残そうという方向を今打ち出しているところである。

道路網について

- 488号線の振替について、広島側がメリットが無いからといってずっと置いておくと、結局手つかずのままどんどん遅れていく。相手がある為難しいかもしれないが、首長としてもっと積極的な動きを見せ、少しでも前進するような手だてをとる必要があるのでは？

▷ 島根県から広島県に持ちかけたが、反応は芳しくなかったと聞いている。その次の手法について、今後県や町内で協議をおこなっていききたい。

【協議事項】

(1) 匹見都市計画区域の見直しについて <都市整備課より説明>

- ・現在益田市の行政区域の中に「益田都市計画区域」「匹見都市計画区域」の2つが混在している状況である。
- ・県の方針では1行政区域に対して1つの都市計画区域が妥当であるという見解が示されている。現在の都市計画区域の条件にマッチしないところもあり、これを継続していく必要があるのかについても問われている。

- ・匹見中央公園は都市公園という位置づけである。都市計画区域が廃止になっても、都市計画区域外にある都市公園としての位置づけも可能であるため、都市公園を整備、今後更新していく際にデメリットは無いという事になる。
- ・この場で廃止か継続かを決定するという事ではなく協議会のご意見を聞かせて頂いて、今後島根県とも相談しながら進めていきたいと思っている。

《質疑・意見》

●旧匹見町時代、匹見中央公園を建設する為に都市計画区域を設定することに取り組んだ。しかし、現在は都市計画区域の要件をなしておらず、匹見中央公園については従前通りの補助があるという事であれば、市の考えられている方向で処理されるべきであると考えている。

【報告事項】

(1) 当初予算の要求状況について <資料1 各課長より説明>

○支所長より全体の要求状況について説明。各課長より各課の状況について説明。

- ・平成 29 年度の当初予算編成に向けては、平成 28 年度の当初予算に比べ一般財源ベースで 9%カットという厳しいシーリングの枠が設定されている。
- ・匹見総合支所の状況として、約 925 万 3 千円の削減に取り組んだ。
- ・削減に伴い、これまで出来ていたことが縮小あるいは廃止になるという内容も含むため、早めに地域協議会に状況を報告させていただき、意見等も伺いたい。

○住民福祉課の予算要求の状況

- ・住民福祉課の事業としてはほとんどが施設管理経費となっており、一つの事業から大幅に削減することはできない状況である。
- ・もみじの里の機械浴槽が壊れたため新規でリース契約をした。176 万 9 千円の増額が必要であった。
- ・過疎バス事業費について運行実態に合わせ委託料を精査し、53 万 4 千円の削減を見込んでいる。

○教育委員会匹見分室の予算要求の状況について

- ・澄川プールのろ過機、トイレ等の修繕をしなければ今後使用できない状況が発生したが、その修繕料が捻出できず、今回は開設のための予算要求を見送っている状況である。
- ・紅葉ロードレース実行委員会補助金について、大会運営を工夫すれば開催できると考え 10 万円削減した。

○地域づくり推進課の予算要求状況について

- ・地域資源型雇用創出事業については、わさび生産振興企画調整員委託料等を含んでいるが、3 年の事業が終了するため、29 年度は予算要求なし。
- ・観光振興団体補助金について、匹見峡春まつり補助金について商工会や実行委員会とも協議し、45 万円削減した。
- ・温泉管理費についてはシーリング枠外事業であるが、基本的には前年通りの要求である。今年度突発的な修繕等も発生したが、補正予算で予算措置し対応したきた。温泉からは修繕について緊急度の高いものから計画をあげてもらっており、出来る限り今年度のうちで対応し、残った部分で急ぐものについては新年度に要求をあげている。

○建設課の予算要求の状況について

- ・道路維持補修費の需用費、委託料を見直し 172 万 4 千円削減した。

《質疑・意見》

もみじの里機械浴槽リース料について

- 今まではリースではなかったのか。
 - ▷ 故障前は施設を建設した時に設置したもので、今年度故障したため新たにリース料が発生している。
- リースにした場合と買い取りにした場合の試算はどうなっているか。
 - ▷ 買取価格は910万4千円となる。リース料であれば当然利率や手数料がかかるので総額で言うと額が大きくなる。5年のリース期間満了後は所有権が市に移転するため、リース料が無い状態であれば使用できると思っている。

澄川のプールについて

- 修繕しないと使用できず開設をしないということは、もう廃止し、解体でもするという事か。
 - ▷ 新年度に向けてはプールの開設をしないという想定で予算要求をおこなった。開設するためにはろ過機等の修繕費が必要となり、とてもシーリングの中に収まらず予算要求を見送った。今後どうするかという事の協議をこれから地域としていこうという事である。
- 以前河川プールに対し補助金があったと思うが、現在はどうか。
 - ▷ それについての情報を持っておらず、また研究しておきたい。
- すでに予算要求をし方針を出した後に地元と話をするのでは、行政が後手に回っているとしか言えない。多額の修繕費を予算出来ないのは理解できる。廃止するのであれば、代替案を提案するなどしないと住民は不信感を持つ。
 - ▷ 本来であれば、先に地元と話をし調整したうえで予算要求したかったのだが、今回のシーリング枠が示されたのが10月に入ってからであった。予算削減の可能性を洗い出す作業に手いっぱいであったというのが実情である。財政当局には、このような高いハードルを課すのであれば、もっと早く示してほしいと申し上げたところである。今回の要求については、地元に必要な説明も無いままの見切りであるという事は、ご指摘のとおりである。これから地域のほうに丁寧に説明していきたいと考えている。

財産区について

- 匹見には財産区の山がある。一般会計でどうしても捻出できなければ、財産区の山を計画的に売る事を考えてもらいたい。決して安易に売れという意味ではないが、考える必要があるのではないかという事を提案してみたい。
 - ▷ 財産区委員会では今議論しているところである。いくらで売れるかという事の調査を今は始めているところである。
- 匹見にある財産区なのに、本庁に担当課があるのはおかしい。匹見がイニシアティブをとるべきでは。
- 財産区を少しでも匹見の為になるように、現在、未来、それぞれの世代に恩恵があるように進めてもらいたい。

豪雪センターの耐震化工事について

- 合併時の積み残しとして、タウンホールに椅子を据えるような改修をするという事があったと思うが、耐震工事と合わせておこなう予定なのか。
 - ▷ 30年度に向けて支所の庁舎の耐震工事を図るという計画である。現状ではこのホールに椅子を据えるというような耐震の計画にはなっていないと聞いている。

【その他】

- 民生児童委員の任期が11月末までであった。今回2名の退任があった。1名欠員であったが3名の新任委員さんを選任した。匹見地区は合計で16名の委員さんで地域の見守りをおこなっていただく。

○匹見保育所の指定管理者について 12 月議会において正式に社会福祉協議会が来年 4 月からの指定管理者として選任された。期間は 5 年間。

○地域協議会委員さんの任期が今年度で 2 年間の任期を終える。また引き続きお願いしたい。